

交通安全だより

平成29年4月

第**187**号

春の交通安全 市民運動実施!!



平成29年**4月6日(木)**～**4月15日(土)**

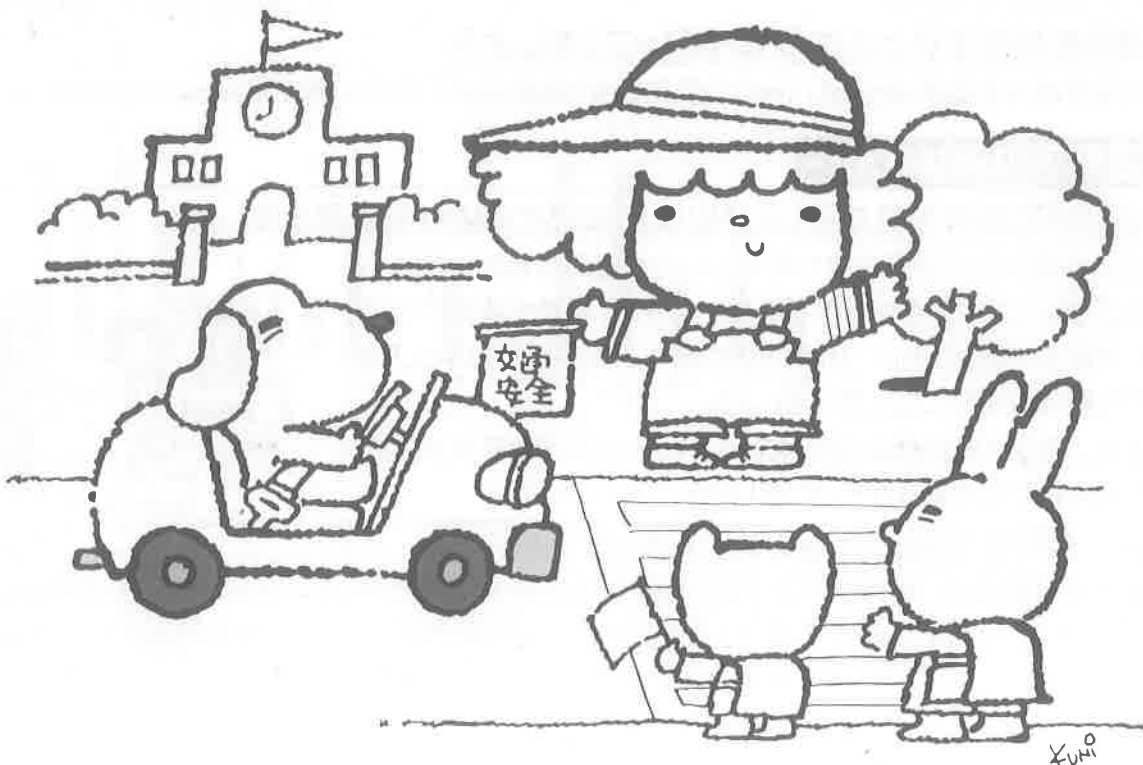
重点

1 運動の基本

- 子どもと高齢者の交通事故防止(高齢ドライバーの事故防止を含む)

2 取組重点

- 歩行中・自転車乗用中の交通事故をなくそう
- 後部座席を含めた全ての座席でシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しよう
- 飲酒運転を根絶しよう



子供や高齢者を交通事故から守りましょう

春は、新入学児童(園児)が通学や通園を始める季節です。子供たちが新たな交通行動に参加することとなり、不慣れな環境下で交通事故が心配されます。

また、この時期は気候もよくなり、高齢者が朝夕の散歩など、外出する機会が増えることから交通事故の発生も心配されます。

子供や高齢者の事故の特徴

- 歩行中、自転車乗車中の事故が多く発生。
- 歩行者は道路の横断中(飛び出し)の事故、自転車は交差点での出合頭事故が多発。
- 自宅近くで事故に遭うケースが多い。

子供や高齢者を交通事故から守るには

■ 家族のみなさんへ

① 家族の交通安全意識を高めましょう

子供や高齢者の交通安全意識を高めるためには、自宅付近の危険箇所を具体的に上げて、家族で交通安全について話し合しましょう。

② 安全な行動を具体的に実地指導しましょう

「車に気をつけて」「あそこは危ないよ」と子供や高齢者に声をかけ、安全な行動をとるように促しても、子供は未経験から「どう気をつければよいのか」「なぜ危ないのか」また、高齢者は日頃の慣れから「何が」「なぜ」危ないのかが分かりません。子供には「どこで立ち止まるのか」「どこの何を見るのか」「どう行動するのか」、高齢者には「何を」「どうする」など、子供や高齢者の目線で具体的に分かりやすく指導しましょう。

③ 道路を横断するときは「ハンドアップ」をしよう

道路を横断する時はドライバーから目立つよう手を上げて横断しましょう。

■ 運転手のみなさんへ

① 子供や高齢者を見たら「とび出し」「突然の横断」を予測しましょう

子供や高齢者の交通事故で最も多いのが道路の横断と道路へのとび出しです。子供や高齢者を見たときは、突然の横断やとび出しを警戒するとともに、道路の反対側からの別の子供のとび出しや高齢者の横断にも注意しましょう。

また、子供や高齢者を見かけたら、スピードを落とすなどの思いやり運転で交通事故から守りましょう。



② 右左折時は歩道上を必ずチェックしましょう

子供や高齢者は、目の前の信号だけを見て、右左折車の確認をしないまま横断する姿がよく見られます。また、自転車が歩道を通行することができる標識が無くても子供や高齢者は歩道を自転車で通行することができるので、交差点を右左折する時は目の前の横断歩道上だけでなく横断歩道前後の歩道上を通行する歩行者や自転車にも注意しましょう。

平成28年 交通事故のあらまし

昨年、蒲郡市では405件の人身事故が発生し、交通事故死者4名を含む520名の方が死傷されました。また愛知県においては、人身事故件数、負傷者数共に減少し、死亡事故死者も212人と昨年(213人)より減少してはいるものの、引き続き全国ワースト1位となりました。

表1 平成28年の蒲郡市内における交通事故発生状況

年	死亡		重傷		軽傷		人身合計		物損件数	総件数
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数		
平成28年	4	4	10	11	391	505	405	520	2,325	2,730
前年比	+2	+2	-2	-1	-40	-30	-40	-29	+78	+38

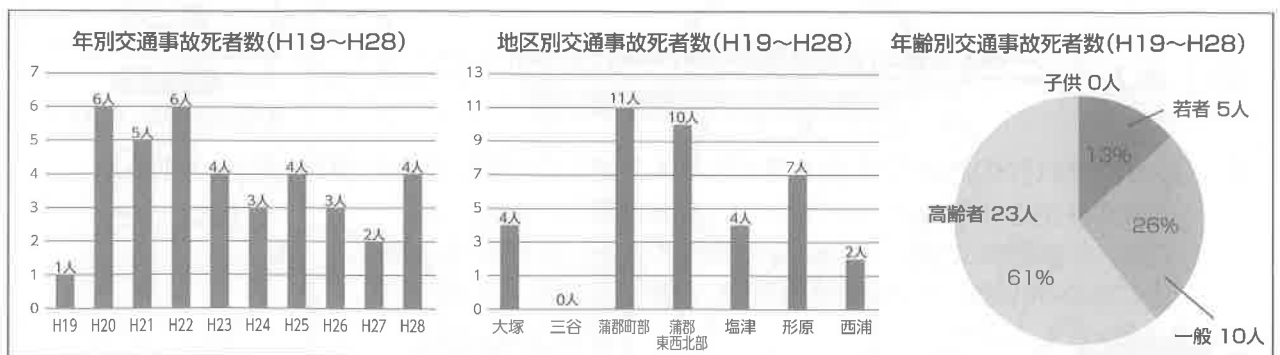
表2 平成28年の蒲郡市内における年齢別交通事故発生状況

年	子ども(～15歳)		若者(16～24歳)		一般(25～64歳)		高齢者(65歳～)	
	人数	死者	人数	死者	人数	死者	人数	死者
平成28年	42	0	57	0	317	1	104	3
前年比	+4	±0	-36	±0	+11	+1	-8	+1


10年間の交通死亡事故を振り返って

平成19年から平成28年の10年間の、蒲郡市内における交通事故における死者数は38人でした。これを分析していくと

- 年ごとでは増減をくり返しているが、平成20年と平成22年をピークにやや減少傾向にある。
→ 市民の交通安全意識が徐々に高まってきている。
- 地区別では、蒲郡町部地区、蒲郡東西北部地区、形原地区の順に死者数が多い。
→ 人口の多い地区や、国道・県道など主要道路があるが道幅が狭い地区で事故が発生しやすい。
- 年齢別では、高齢者が6割となっている。
→ 全国での割合は5割であり、蒲郡市では高齢者の死亡事故がより多い傾向にある。
ということが分かりました。



蒲郡市内の交通事故死者数ゼロを目指すため、まず高齢者の方が被害に遭う事故を防ぐ必要があります。



高齢者の方へ

体力の低下などを自覚し、安全な歩行を心がけましょう。また、反射材を身に付けてアピールしましょう。

ドライバーの方へ

高齢者に気遣った思いやりのある運転を心がけましょう。

運転免許証の自主返納について

昨年、高齢者が加害者となる交通死亡事故が、全国で相次いで発生しました。

「運転に自信がなくなってきた…」「家族に運転について心配されている…」など、自動車の運転に少しでも不安があったら、運転免許証の自主返納をご検討ください。

各種サポート制度をご利用ください!



自動車が
運転できないと
病院に
行けなくなるなあ・・・

交通防犯課では満70歳以上の蒲郡市民の方に、タクシー料金(市内区間)が3割引になる「高齢者割引タクシーチケット」をお渡ししています。また環境清掃課では、電動アシスト自転車の購入補助制度も実施しています。



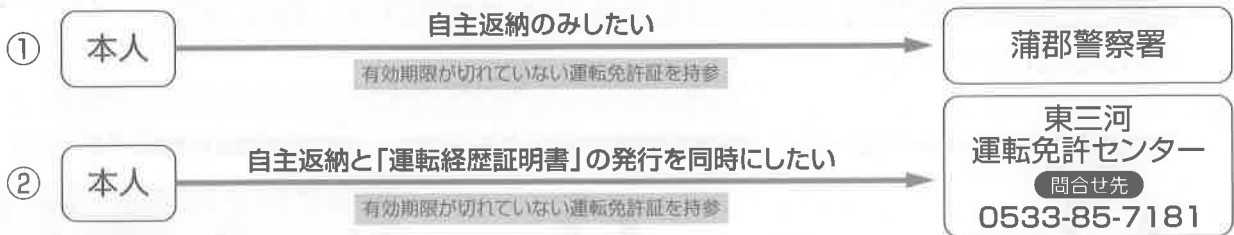
運転免許証は
本人確認書類に
なるから、手放したく
ないのよねえ・・・

運転免許証を自主返納すると、希望者には「運転経歴証明書」が発行されます(手数料1,000円)。これは銀行や官公庁などで本人確認書類として使うことができます。

その他にも・・・

- 永年有効です!
- 証明書を提示すると、お店で割引などの特典が受けられる場合があります!

手続きの流れ (平成29年3月現在)



①、②のいずれかの方法で手続きを行ってください(※帰りは車の運転ができません)

- ・運転免許証の有効期限が切れていないことを確認してください。
- ・ご本人が手続きにお越しください。(代理人による手続きはできません。)
- ・①の場合、希望者には蒲郡警察署窓口で記念品をお渡ししております。

注意!



昨日運転免許証の有効期限が切れたから、自主返納して運転経歴証明書をもらおう!

「自主返納」は有効期限が切れていない免許を自主的に返納することです。期限切れの運転免許証を「自主返納」することはできないため、運転経歴証明書は発行されません。

必ず運転免許証の有効期限内に手続きを行ってください